

Megumi Shimane Violin Recital

2021

1.24

(Sun)

# 島根 恵

ヴァイオリン・リサイタル

『ヴァイオリン・  
ヴィルトゥオーゾの世界』

2021年 1月 24日 (日)

14:00 開演 (13:15 開場)

銀座 王子ホール

OJI HALL (Ginza)



Piano 澤村 桜子  
Sakurako Sawamura

G. B. ヴィオッティ：ヴァイオリン協奏曲 第22番 イ短調  
Giovanni Battista Viotti : Violin concert No.22 in A-minor (G97,WI-22)

P. バイヨ：アンダンテ ニ短調 作品29  
Pierre Baillot : Andante in D-minor Op.29

F. ダヴィッド：夜想曲 ヘ長調 作品28-1  
Ferdinand David : Nocturne in F-major Op.28-1

F. メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64  
Felix Mendelssohn : Violin concert in E-minor Op.64

全席自由 前売 一般 4000 円 / 学生 3000 円  
当日 一般 4500 円 / 学生 3500 円

チケットお取り扱い

(株) インターミュージック・トーキョウ TEL 03-3475-6870

王子ホール チケットセンター TEL 03-3567-9990

Yahoo! パスマーケット <https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/010wmf11777qj.html>

【チケット窓口】  
簡単! クレジット  
or コンビニ決済は  
QRコードから! →





## 島根 恵 Megumi Shimane (ヴァイオリン)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学器楽科を卒業後、桐朋学園大学音楽学部研究生を修了。

1981年 第8回ヴェニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクールに入賞。  
1987年 第2回日本モーツァルト音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝。

これまでにヴァイオリンを海野義雄、久保陽子、兎東龍夫、江藤俊哉、広瀬八朗の諸氏に、室内楽を黒沼俊夫氏に、和声学を松村禎三氏に師事。2013年から J.S. バッハについてオランダの名チェリスト、アンナー・ビルスマ氏に師事。

後進の指導のほかに、世界的に音源の少ない学習者向けの楽曲を CD にすることを主な活動としている。

公益社団法人日本演奏連盟会員。

一般社団法人日本弦楽指導者協会 関東支部理事。

【これまでにリリースした CD】

- ドント：24のエチュードとカプリス (ALCD-9159) (レコード芸術準推薦盤)
- ロード (ローデ)：24のカプリス (ALCD-9091, 9092) (レコード芸術推薦盤)
- クロイツェル：42の練習曲 (ALCD-9144, 9145)
- カイザー：36の練習曲 (ALCD-9132, 9133)
- エア・ヴァリエ (ALCD-9123) (レコード芸術準特選盤)
- J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタとバルティータ (ALCD-7059, 7060)
- モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第3・4・5番 (ALCD-9111) (レコード芸術準推薦盤) 他



## 澤村 桜子 Sakurako Sawamura (ピアノ)

東京音楽大学卒業。卒業演奏会出演。卒業後、渡仏。パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ教師ディプロム、演奏家ディプロム、室内楽高等ディプロムを取得。

スコラ・カントルム音楽院にてピアノ高等ディプロムを満場一致で取得。パリ13区モーリス・ラヴェル音楽院にてピアノ伴奏科を満場一致で修了、DEM取得。

フランス・パリ、ドイツ・カールスルーエの教会やホールコンサートに出演。フランス・シャランコンの夏期講習にて合唱ピアニストを務める。

ペトロフピアノコンクール4位(日)、クロード・カーンピアノ国際コンクール入賞(仏)、クレドール・コンクールピアノ部門1位(仏)、ヨーロッパ・カールスルーエ室内楽コンクール1位(独)。

ピアノを矢野裕子、佐藤由紀子、P. Zygmanski、G. Pludermacherの各氏に、室内楽をC. De Buchy氏、伴奏法をC. Collet氏、歌曲伴奏をM. Parigot氏に師事。



## ～ ごあいさつ ～

このたびは、多くの皆様からご要望をいただきまして、4年ぶりにリサイタルを開催することになりました。

『ヴァイオリン・ヴィルトゥオーゾの世界』と題しましたとおり、ヴァイオリン音楽発展の歴史を感じていただけるプログラムを組みました。

(※「ヴィルトゥオーゾ」とは、一般に「超絶技巧演奏」や「超絶技巧演奏家」を指しますが、リサイタルに向けてこの言葉に込める意味は、「技巧を凝らして聴衆を最大限楽しませる、真心の結晶」だと考えています)

なかでも特に聴きいただきたいのは、ヴァイオリン演奏の流派のひとつ「フランコ・ベルギー派」の創始者ともいわれるG.B. ヴィオッティが書いた《ヴァイオリン協奏曲第22番 イ短調》です。曲中のカデンツァは、ブラームスの友人で、この作品を愛し幾度も演奏したと伝わるJ. ヨアヒムが書いたものを演奏いたします。しかし、現在出版されている楽譜には、ヴィオッティやヨアヒムが実際にコンサートで演奏したであろう装飾的な音符や音型のすべては書き込まれていないように私は思います。そのような部分に、島根恵オリジナルの装飾を盛り込んで、ヴァイオリン・ヴィルトゥオーゾ全盛期の香りを味わっていただきたいと思います。

P. バイヨはヴィオッティの弟子で、クロイツェルやローデと共に、パリ国立音楽院の草創期に「ヴァイオリン演奏の方法論」を書いた人物です。今回はヴァイオリン・ヴィルトゥオーゾを育てるための課題として出版したであろうヴァイオリンとピアノのための小品に、島根恵オリジナルの装飾を加えての演奏を試みます。

F. ダヴィッドはライプツィヒに住むメンデルスゾーンの友人で、メンデルスゾーンの協奏曲 ホ短調を初演した人物です。メンデルスゾーンの協奏曲は「友人ダヴィッドの得意とするヴィルトゥオーゾを活かしたのだな」と思わせるところがあり、それが感じられるダヴィッド作曲のサロンコンサート用小品を選びました。

そしてF. メンデルスゾーンの協奏曲 ホ短調は、自筆譜のアーティキュレーションを活かして、メンデルスゾーンが表したかった「思い」に近づこうと思います。

このプログラムでは、協奏曲とピアノ伴奏の曲が混在しておりますが、時を超えて往時の貴族の邸宅の大広間で開かれていたであろうコンサートにお出かけされるお気持ちでご来聴いただけましたら幸いです。

島根 恵



### 王子ホール MAP

東京都中央区銀座 4-7-5

- |         |          |       |
|---------|----------|-------|
| JR 有楽町駅 | 銀座口から    | 徒歩 7分 |
| 地下鉄 銀座駅 | A12 出口から | 徒歩 1分 |
| 銀座一丁目駅  | 9 番出口から  | 徒歩 5分 |
| 東銀座駅    | A2 出口から  | 徒歩 2分 |

